

令和2年度第1回柏市地域包括支援センター運営協議会 要 旨

1 議題

(1) 平成31年度(令和元年度)地域包括支援センターの事業実績について(資料1関係)

- R2年3月以降,新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に地域包括支援センター主催の講座,研修会,会議等を中止しましたが,全てのセンターにおいて概ね仕様を満たした事業が実施できています。
- 各事業の活動実績は増加傾向にあり,特に総合相談支援事業は前年度比1.5倍(土曜日1.3倍)の伸び率でした。(スライド1~4,活動実績資料1~2頁)
- 権利擁護事業では,虐待疑いで通報され対応した件数は前年度比1.2倍であり,虐待として対応した件数は前年度比1.0倍でした。また,権利擁護講座は,消費者被害や成年後見制度に関するテーマについて多く開催されました。(スライド5~6,活動実績資料3~4頁)
- 包括的・継続的ケアマネジメント事業では,医療機関や多機関との連携,権利擁護,終末期ケア等について研修や事例検討を通し,医療,介護,権利擁護,地域関係者等とのネットワークの強化が図られました。(スライド7~10,活動実績資料5~6頁)
- 地域ケア会議では,障害福祉サービスと介護サービスの併用,独居,認知症,低所得等を背景とした支援困難,地域の社会資源の活用等が議論され,課題解決に向けて検討しました。(スライド11~13,活動実績資料7~8頁)
- 介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援業務についても前年度比1.1倍であり,来年度もこの傾向は続くと予想されます。(スライド14,活動実績資料9頁)
- 認知症総合支援事業では,各センターに認知症地域支援推進員を配置し,認知症理解のための普及啓発や居場所づくりを行いました。(スライド15~18,活動実績資料10~12頁)
- 一般介護予防事業では,フレイル予防の普及啓発とサークルやサロン等の地域への団体の支援に注力し,フレイルチェック講座やフレイル予防講座を実施しました。(スライド19~20,活動実績資料13~14頁)

(2) 平成31年度(令和元年度)地域包括支援センターの事業評価について(資料2関係)

- 全てのセンターが標準を上回っており、適切なセンターの運営が実施できました。
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(9頁), 事業間連携(12頁), 認知症施策の推進(13頁), 一般介護予防事業(14頁)において積極的な取り組みがみられました。
- アンケート調査においては、全てのセンターを合わせ、全質問項目について、「とても良い～普通」以上の評価を90%以上得ることができました。(17頁)

(3) 令和2年度地域包括支援センターの事業計画について(資料3関係)

- 日常生活圏域データ, JAGES データ, これまでの総合相談, 地域ケア会議等において検討された地域課題等, さまざまな角度から分析し, 地域特性を反映した運営を行います。
- 運営にあたっては, これらの分析を踏まえたうえで PDCA サイクルに基づき実施するとともに, 地域包括支援センター運営協議会において, 継続的な評価, 点検を実施していきます。
- 地域包括支援センターごとに, 職員体制・所管圏域・重点活動を記載しています。(2～25頁)

2 報告事項

(1) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について(資料4関係)

- 2社について, 委託審査基準に基づき, 事務局にて審査し, 評価項目において, いずれもaまたはbと評価され, 総合評価として, すべての事業所が委託可能と判断しました。

(2) 地域包括支援センターの新規開設及び移転について

- 柏北部第2地域包括支援センター, 沼南地域包括支援センター高柳相談窓口及び柏北部地域包括支援センターの新住所について, リーフレットに掲載しています。